

# Uganda便り③ ～ウガンダから～

2017. 2. 5  
青年海外協力隊 田中美千恵

こんにちは。第3回目は私の活動先について紹介したいと思います。

私は公立の職業訓練校の服飾科で活動しています。（私は青年海外協力隊の服飾という職種でここウガンダに派遣されています）  
活動内容は、生徒に服やバックなどの小物作りを教えたり、現地の先生の授業のサポートをしたりしています。

ウガンダの学校は・・・

プライマリースクールが7年（日本の小学校にあたる）

セカンダリースクールが6年（日本の中学校、高校にあたる）

プライマリーの7年生とセカンダリーの4年生、6年生には国の終了資格試験のようなものがそれぞれあります。

活動先の学校について・・・

**学校名：マスリタ職業訓練校**

**(Masuliita Vocational Training Center)**

首都カンパラから車で1.5時間ほどの場所（ワキソ県マスリタ地区）にあります。

（学校内の校舎）



## 生徒数：約250名

学校の敷地内に寮があり9割位の生徒が寮生活をしています。首都や近郊に自宅がある生徒、バスで12時間以上かかる遠方に自宅があるなど生徒の出身地は様々です10代～20歳前後がほとんどで生活態度や恋愛の問題なども日本と同じようにあります。

(学生寮) 大部屋に2段ベットがドーンとあります。



## 学科：9の科

服飾・木工・農業・自動車整備・美容・配管・溶接・ブロック&レンガ・電気

## コース：主に2年制と3年制

短期の3ヶ月ほどのコースも年に1度あります。

- 2年制・・・セカンダリー（日本の中学、高校にあたる）4年生以上を卒業した生徒のみが入れるコース。授業のほとんどは各科の専門教科を学ぶ。  
(学生の年齢：18～20歳前後)
- 3年制・・・どの生徒でも入れるコース。プライマリー（日本の小学校にあたる）やセカンダリーの学校を途中退学した生徒など主に入ります。週の半分は専門教科、その他半分は数学、英語、科学など各科の専門以外の教科の授業がある。  
(学生の年齢：13～18歳前後)

他の科には10歳前後の生徒もいたりします。

1年のスケジュールは下記の図のように日本と同じ3学期制です。それぞれの1, 2学期の休みが1ヶ月弱あり、3学期末は約2ヶ月程あります。



### 1日のタイムスケジュール

8:00~10:00	1時間目
10:00~10:30	休憩タイム
10:30~13:30	2時間目
13:30~14:00	昼食
14:00~16:00	3時間目

1回の授業は  
2時間です

授業は月~金  
土日はお休みです

#### ~朝の休憩タイム~

先生・生徒共にお茶かポリッジとよばれるトウモロコシの粉をお湯でといたトロトロのおかゆのようなのを飲みます。これが朝ごはんとなります。

#### ~昼食~

給食があり先生・生徒共にポシヨ（お湯にトウモロコシの粉を入れ練ったもの）と豆のスープが食べれます。メニューは毎日同じですが、寮の生徒は祝日の日のみ給食でお米が食べれるようです。お金がある私立の学校などでは週に1度お肉が食べれたりもするそうです。

また次回、学校のそれぞれの科についても紹介したいと思います。

読んでくださりありがとうございます。それではまた。。。